

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	神戸市における道路施設の適確な老朽化・地震対策（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神戸市												
計画の目標	「みちづくり計画」に基づき、道路の長寿命化や健全性の確保を図り、地域特性や災害特性に応じた防災・減災対策を実施することにより、しなやかで強いインフラを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	25,598	A	25,598	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	①老朽化が進み大量更新期を迎えている道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）を計画的に修繕することにより、補修を実施した施設の割合を15%（H28当初）から35%（H32末）にする。 ①個別施設計画（長寿命化計画）に位置づけられた道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）の対策を実施した割合の向上 （補修・修繕が完了した箇所数） / （個別施設計画に位置づけられた橋梁、トンネル数、大型構造物（横断歩道橋等）数）	15%	27%	35%
2	②道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）の定期点検を計画的に行い、点検結果をもとに個別施設計画を策定し、適確な維持管理を推進する。 ②道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）の定期点検を実施した割合（1項目点検（H26～30）、2項目点検（H31～35）） （定期点検が完了した箇所数） / 管理橋梁、トンネル数、大型の構造物（横断歩道橋等）数	19%	100%	22%
3	③緊急輸送道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路における橋梁の耐震化を進め、防災機能の強化を図る。 ③緊急輸送道路における道路施設（橋梁）の耐震化率の向上 （耐震化が完了した橋梁数） / （緊急輸送道路上の橋長15m以上の耐震化が必要な橋梁数）	74%	79%	83%
4	④緊急輸送道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路における無電柱化を進め、防災機能の強化を図る。 ④緊急輸送道路における無電柱化率の向上 （市街地等の緊急輸送道路における無電柱化実施延長） / （市街地等の緊急輸送道路	34%	36%	38%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
(国土強靱化地域計画名)に基づき実施される事業：本計画内要素事業の全て														

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
神戸市において評価を実施		令和5年3月	
		公表の方法	
		神戸市HPにおいて公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	①道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）において、計画的に補修を実施したことにより、道路の長寿命化や健全性の確保が図られた。 ②道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）において、計画的に定期点検を実施したことにより、適格な維持管理が図られた。 ③緊急輸送道路における道路施設（橋梁）において、耐震化を実施したことにより、防災機能の強化が図られた。 ④緊急輸送道路において、電線共同溝整備を推進したことにより、防災機能の強化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	35%	老朽化が進み大量更新期を迎えている道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）を計画的に修繕することにより、補修を実施した施設の割合に関して、目標を達成した。
	最終実績値	53%	
2	最終目標値	22%	道路施設（橋梁、トンネル、大型の構造物）の定期点検を計画的に行い、点検結果をもとに個別施設計画を策定し、適確な維持管理を推進した結果、目標を達成した。
	最終実績値	30%	
3	最終目標値	83%	緊急輸送道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路における橋梁の耐震化を進め、防災機能の強化を図った結果、目標を達成した。。
	最終実績値	85%	
4	最終目標値	38%	緊急輸送道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路における無電柱化を進め、防災機能の強化を図った結果、目標を達成した。
	最終実績値	39%	